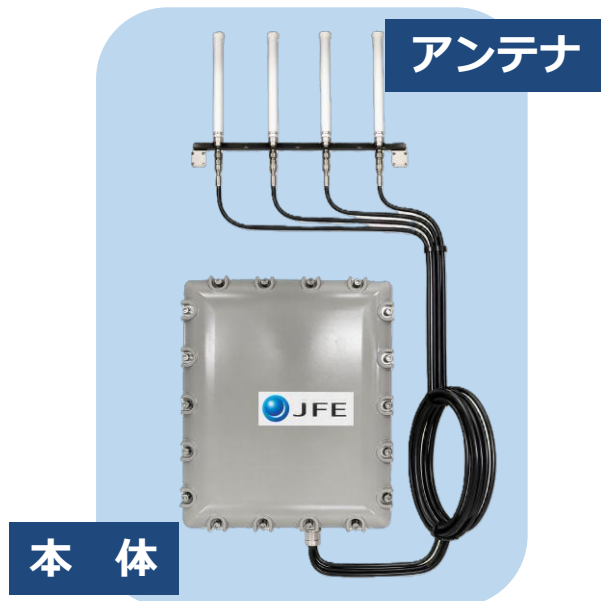


LANEX®—AP0203

【対応周波数: 2.4GHz/5GHz】

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能な無線LANアクセスポイント

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用/設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行いう事ができます。さらに、防爆型IP携帯電話との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。



適用が想定される各種プラントエリア



<主な特徴>

各種等級	防爆等級: Exdb(ia) IIB+H2T6 Gb 保護等級: IP65相当
無線LAN	IEEE802. 11b/a/g/n/ac/ax に準拠 (2.4GHz帯/5GHz帯)
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WPA パーソナル、WPA エンタープライズ、MACアドレスフィルタリング等)
主な特徴	IEEE802. 11ax 1024QAM 対応、通信速度最大573Mbps(2.4GHz帯)、2401Mbps(5GHz帯) ^{注1} 無線 LAN コントローラによる集中管理にも対応 ^{注2} 移動端末がスムーズにローミング行うために必要な機能(AWC-チャンネルプランケット)に対応 ^{注3} レーダー波検知時に候補チャンネルへ即時切替し、5GHz 帯の通信継続性を高める Zero Wait DFS に対応 1つの無線LANチャンネルにて、AP間の電波干渉なく、広域無線LANエリアの構築可能 PoE(Power over Ethernet) 給電方式を採用 水素防爆エリアにも対応可能
通信距離 ^{注4}	屋外: ~約100m

注1: 表示の数値は無線LAN規格上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

注2: スタンドアローンモデルとしても対応可能

注3: 無線 LAN コントローラによる集中管理の際のみ利用可能

注4: 無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。(詳細は現地調査実施要)

<LANEX®-AP0203基本仕様>

種別	項目	仕様 ^{注1}
一般	本体部外形寸法	358mm(W)×426mm(H)×234mm(D) ※突起部、取付金具含まず
	重量	本体部 :約34kg アンテナ部:約0.8kg ※取付金具含まず
	防爆等級/検定番号	Exdb(ia) IIB+H2T6 Gb (1/2種危険場所)/検定番号:TC22896X
	保護等級	IP65相当
無線LAN部	使用温度(湿度範囲)	-20℃~60℃ (湿度:5~95%結露無きこと)
	サポート規格	IEEE802.11b/a/g/n/ac/ax
	伝送方式	802.11ax/ac : 直行周波数分割多元接続方式(OFDMA) 802.11n/g/a : 直交周波数分割多重方式(OFDM) 802.11b : 直接スペクトラム拡散方式(DSSS)、CCK方式
	使用周波数範囲	2.4GHz帯(全13ch)/5GHz帯(W52:全4ch/W53:全4ch/W56:全11ch)
	通信速度(理論値)	2.4GHz帯:最大573Mbps/5GHz帯:最大2401Mbps
	セキュリティ	WPA/WPA2/WPA3:パーソナル、エンタープライズ MACアドレスフィルタリング、SSID ANY拒否、無線クライアント間通信禁止
	暗号化	WPA/WPA2:CCMP(AES)とTKIP、またはCCMP(AES)のみ WPA3 :パーソナル…CCMP(AES)、エンタープライズ…CCMP(AES)またはGCMP(AES)
送信出力	10mW/MHz以下	
通信距離 ^{注2}	屋外:~約100m	
アンテナ部	アンテナタイプ	オムニディレクショナルアンテナ(無指向性) 2ストリームMIMO(2.4GHz帯)、4ストリームMIMO(5GHz帯)
	アンテナ本数	4本(デュアル【2.4GHz/5GHz】:2本、5GHz:2本)
有線LAN部	サポート規格	IEEE802.3u/IEEE802.3ab(100BASE-TX/1000BASE-T)準拠 IEEE802.3bz(2.5GBASE-T/5GBASE-T)準拠 IEEE802.3bt準拠(PoE++仕様) IEEE802.1Q準拠(VLAN Tagging仕様)
	インターフェース	RJ-45型×1

注1: 予告なく仕様変更される可能性があります。 注2: 無線通信距離は、APが設置される環境により異なります。

『LANEX®-AP0203』 無線LANアクセスポイントは、アライドテレシス社の最新技術 (AWC-チャンネルブランケット)を採用する事により、高品質で信頼性の高い無線LAN環境の構築が可能

一般の無線LAN

干渉防止の目的から、1・6・11chで使用する事が多い。
同一チャンネルの干渉を防ぐため、交互に配置するも…

- ◇ AP配置計画時、同一チャンネルによる電波干渉発生に注意が必要。
- ◇ 電波干渉を防ぐ為に送信出力を弱めるとAP追加設置の可能性あり。
- ◇ ハンドオーバーは端末主導にて実施される。その際、通信断・音声途切れなどが発生する可能性あり。

LANEX®-AP0203

シングルチャンネル(チャンネルブランケット方式)^{注1}

- ① 複数の無線APを単一チャンネルで運用し、仮想的に巨大なひとつのAPとしてネットワークアクセスを提供する
- ② 特許技術のマルチコミュニケーションテクノロジーにより、互いに電波干渉しない複数の無線端末は、異なるAPを利用して同時に通信可能

- ◇ 1チャンネルのみで無線LANシステムを構築する事により、各種システム(無線計装など)との共存が可能!
- ◇ ローミングによるパケットロス・スティッキー端末問題を解決。(通信断、音声途切れなどの発生を少なく抑える事ができます。)

注1: 2.4GHz帯およびW52(5GHz帯)のみ対応

JFE エンジニアリング 株式会社 <総販売元>
 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
 エネルギー本部 エネルギー営業部
 Tel: 045-505-7269 Fax: 045-505-8978
 DX 本部 デジタルソリューション部
 Tel: 045-505-8758 Fax: 045-505-8940

